

令和 2 年度東成区運営方針課題別取組状況

課題 1 安全で安心なまちづくり



【具体的取組 1-1-1】 防災

2年度 達成状況

【業績目標】

- モデル中学校における避難所運営マニュアルの策定および実践的な訓練
(目標) 1校・1回 → (実績) 1校・1回
- 災害時協力企業等登録制度による新規登録数
(目標) 5社 → (実績) 17事業所
- 学校園に対する防災講座等啓発活動の回数
(目標) 4回 → (実績) 3回
- LINE等を活用した自助を中心とした防災啓発
(目標) 50回 → (実績) 104回
- 職員研修・訓練
(目標) 5回 → (実績) 5回

【具体的取組】

- 玉津中学校における避難所運営マニュアルの策定及び4地域合同による実践的な訓練
- 東成区内すべての特定郵便局の新規加入：15事業所
- 区内中学校における防災講座（避難所運営ゲーム）の実施：3校
- LINE等を活用した、コロナ禍における自宅避難などの防災啓発：104回
- 職員研修・訓練（大阪市総合防災訓練、大阪市震災総合訓練ほか）：5回

3年度 主な取組内容

- 自主防災組織が主体的に、小学校のみならず、中学校も含めた実践的な避難所運営訓練などを企画立案できるよう支援する。
- LINE公式アカウント等を活用した自助や自宅避難を中心とした防災啓発活動を実施する。



玉津中学校避難所運営訓練

災害時協力企業等の拡充
(区内郵便局)職員防災訓練
(コロナ禍における避難所運営)

【具体的取組 1-2-1】 防犯・安全対策

2年度 達成状況

【業績目標】

- 防犯対策をはじめ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じる区民の割合
 (目標) (実績)
 50%維持 → 72% (区民アンケート)

【具体的取組】

- 就学前児童の防犯啓発 (21回)、子ども防犯教室等の開催 (3回)
- 子ども向け「安全・安心」啓発にかかる広報物の配布
- 地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回 (休校日以外ほぼ毎日)
- 自転車利用マナーアップ啓発 (8回)
- 小学校前交通安全啓発 (12回)
- 青色防犯パトロール (朝・昼：ほぼ毎日、夜：月2回)
- コロナ情報にかかる青色防犯パトロール巡回時における区長メッセージの放送 (随時)
- 鶴橋駅前自転車対策連絡協議会の開催 (書面会議1回)

3年度 主な取組内容

- 子ども事案、街頭犯罪の抑止に向けて、警察等関係機関との連携のもと、地域の自主防犯活動を支援するとともに、防犯教室の開催や防犯灯の設置等、防犯対策を推進する。
- 駅周辺については、街の美観を保ちつつ、歩行者や自転車が安全安心に通行ができるよう、地域・警察・関係局等との連携のもと、自転車利用のマナーアップ啓発など地域主導の活動を促進する啓発活動等に取り組む。



小学校前交通安全啓発



子ども向け安全・安心啓発チラシ



青色防犯パトロール車巡回時の
コロナ啓発

課題2 教育・子育て環境の整備

【具体的取組2-1-1】 学校等との連携強化

2年度 達成状況

【業績目標】

- 区役所と連携した事業に満足と感じる学校の割合
 (目標) (実績)
 80%維持 → 100% (学校教育施策に関する学校関係者アンケート)

【具体的取組】

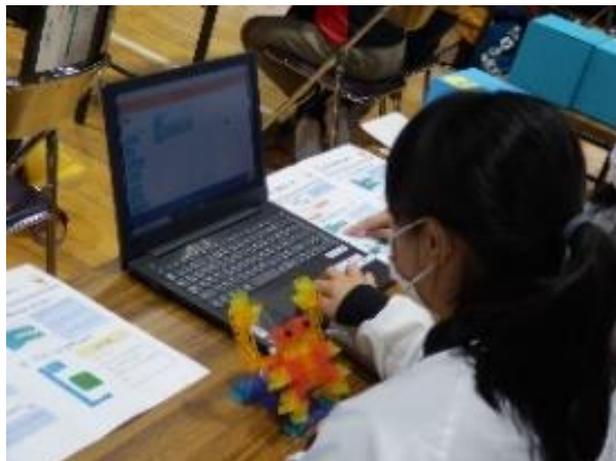
- 区長と学校長との意見交換の実施：12回
- 教育行政連絡会の開催：6回
- 「学校協議会」への参加：3回 (書面会議：54回)
- 国際理解教育支援事業：海外技術研究員との交流 0校 (コロナ禍のため実施なし)
 : 海外ボランティア経験者による出前講座 4校
- 地域におけるプログラミング教育支援事業：3校

3年度 主な取組内容

- 学校長との意見交換や教育行政連絡会等を通じ学校のニーズを把握し、学校が必要とする支援を行うとともに、国際理解教育の推進など学校と連携した取組を引き続き実施する。



国際理解教育支援事業



プログラミング教育支援事業

【具体的取組 2-1-2】 子どもの体力向上

2年度 達成状況

【業績目標】

- 区役所と連携した事業について、児童・生徒が主体的に取り組んでいた学校の割合
(目標) (実績)
60%以上 → 100% (学校教育施策に関する学校関係者アンケート)
- 区役所と連携した事業について、自校のニーズや課題を踏まえて取り組んだ学校の割合
(目標) (実績)
60%以上 → 81.8% (学校教育施策に関する学校関係者アンケート)

【具体的取組】

- 小学生を対象に運動種目に応じた指導者による直接指導：97回

3年度 主な取組内容

- 学校のニーズに基づいた、多様な体力向上プログラムの提供を通じて、運動やスポーツに興味を持って取り組む児童の増加を図るため、小学生を対象に、運動種目に応じた指導者による直接指導を学校授業等で行う。



授業の様子



【具体的取組 2-1-3】 子どもたちと体験するSDGs事業（環境教育）

2年度 達成状況

【業績目標】

- ・「ひがしなり環境・SDGs体験フェスタ」等の参加人数

（目標）	（実績）
延べ 1000 人以上	→ 未測定（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）

【具体的取組】

- ・「ひがしなり環境・SDGs体験フェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

3年度 主な取組内容

- ・小中学生とその保護者が木材や木材製品との触れ合いを通じて、森林の有する公益的機能、地球環境問題などを学習し、くらしとのつながりを理解するための展示や木工などの屋内型体験イベントを実施する。



ひがしなり環境・SDGs
体験フェスタ（その 1）



木工体験教室



ひがしなり環境・SDGs
体験フェスタ（その 2）

【具体的取組 2-2-1】 子育てネットワーク構築支援事業

2年度 達成状況

【業績目標】

- 行政や地域の子育て支援の取り組みに満足する子育て世代の区民の割合
 (目標) (実績)
 83%以上 → 89% (子育て支援イベント時、乳幼児健診時のアンケート)

【具体的取組】

- 「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の登録者数：2,385人
- 「子育てふれあいサークル大・集・合！」(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)
- 「ひがしなりっ子 すくすく・つながるフェア」：170世帯参加
- 「プラザフェスタ」等(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
- 子育て情報誌「子育て安心ブック」：日本語版 4,500部、英語版 400部、韓国語版 400部、中国語版 300部を発行
- 情報発信：Facebook 135回、Twitter 61回、メールマガジン：15回
- 子育て家庭のニーズ把握のためのアンケート調査実施：イベント時1回、乳幼児健診時5回
- 子育て支援「専門分野別実務者会議」の開催：書面開催3回
- 教育・保育施設の利用者支援専門員の相談及び情報提供：520回

3年度 主な取組内容

- 「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」を活用し、子育て家庭と地域とのつながりづくりを支援する。



ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ



ひがしなりっ子すくすく・つながるフェア



〈日本語版〉 〈英語版〉 〈韓国語版〉 〈中国語版〉
ひがしなり子育て安心ブック

課題3 地域における協働による保健・福祉への取組み

【具体的取組3-1-1】地域全体で支え合う体制づくり

2年度 達成状況

【業績目標】

- 地域福祉活動サポーターによる要援護者等への支援件数（訪問、相談等）

（目標）		（実績）
5,000 件以上	→	5,157 件

【具体的取組】

- 在宅医療、介護連携の推進にかかる講演会、連絡会の開催：32 回
- 地域の課題共有、解決検討の場の運営：17 回
- 地域福祉に関する啓発の取組：1 回

3年度 主な取組内容

- 地域の身近な相談支援窓口を担う地域福祉活動サポーターを継続して配置し、要援護者への支援コーディネートや地域福祉活動の活性化を行う。また、「おまもりネット事業」を活用した地域におけるつながりづくりを支援する。



おまもりネット手帳



おまもりネット相談会



ふれあい喫茶

【具体的取組 3-2-1】 ライフステージに応じた健康づくり事業

2年度 達成状況

【業績目標】

- 健康づくりに関する取り組みに興味を持つ者の割合

(目標)	(実績)
80%維持	→ 86% (区民アンケート)

【具体的取組】

- 食育講座：中学校で実施（1校）
- 「みんなの食育&健康セミナー」「いきいき百歳体操講演会」を企画するも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
- 百歳体操体験講座：新型コロナウイルス感染対策を講じて実施（3月末時点で14グループが再開、区内実施グループ19か所・27グループ）、
- 高齢期、壮年期啓発リーフレットを作成、配布
- 特定健診啓発物品（クリアファイル）及び健診案内（保存版）等を各イベントで配布
- 区内郵便局で健診案内掲示
- 健康づくり推進「専門分野別実務者会議」の開催：文書開催1回

3年度 主な取組内容

- 健康寿命を延伸するため、介護予防活動として「いきいき百歳体操」の普及啓発および継続開催、さらに低栄養のリスクなど食育に関する知識の普及に取り組み、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進する。



中学校での食育講座



感染防止対策をしておこなっている「いきいき百歳体操」の様子

【具体的取組4-1-1】 地域の実情に即したきめ細かな支援

2年度 達成状況

【業績目標】

- 地活協の構成団体が、地活協に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合
 (目標) 72.1%以上 → (実績) 80.6% (地活協の構成団体に対するアンケート)

【具体的取組】

- コロナ禍で、各地域活動協議会の年間事業計画の見直しが必要となり、地域への聞き取りを行った。
- コロナ禍での継続した活動の一環として、SNSの活用やWEB会議システム導入など、非対面でのコミュニケーションツール活用を支援した。
- 活動の担い手不足解消を図るため、育成や発掘の仕組み作りとして、地域まちづくり支援員による、地域「常駐」型の支援体制の構築に取り組んだ。
- 活動の中核的役割を担う第一層の活動の活性化を図るため、町会加入促進チラシを作成するとともに、広報紙やSNSを通じて、地域活動協議会の取組を紹介した。

3年度 主な取組内容

- 地域活動協議会の自律的な地域運営に向け、自主財源獲得や企業等との連携、継続的な広報活動、会計処理能力の強化などを支援する。
- 地域住民による「常駐」型の支援を行い、地域活動の担い手育成及び発掘の仕組みを構築する。
- 自治会・町内会単位（第一層）の活動の活性化に対する支援を行う。
- 地活協の意義や求められる機能の理解促進に向け、働きかけや発信を行う。



ひがしなりだより (R2.11月号)



地域でのWEB会議のようす

【具体的取組 4-2-1】 地域・社会課題解決に取り組むための企業と地域・学校等による連携促進

2年度 達成状況

【業績目標】

- ・「ひがしなり企業区民連携フォーラム」参加企業等総数

(目標)		(実績)
40社以上	→	51社

- ・課題解決に向けて取組みを始めた件数

(目標)		(実績)
5件	→	4件

【具体的取組】

- ・ホームページ、Facebook等により、フォーラムの取組みを発信するとともに広く参画を募った：通年
- ・「ひがしなりソケット」オンラインイベント（第1弾、第2弾）の開催：2回
- ・企業に対するSDGs推進のための研修（ひがしなりソケットLAB.）：4回
- ・ひがしなりソケットLAB.3期生のアイデア発表&1~2期生の活動報告会の開催：1回
- ・事業成果を学術的にまとめた報告書の作成、報告会の開催：1回

3年度 主な取組内容

- ・平成30年度より令和2年度までの3年間で構築してきた、企業等が協働してSDGs/地域・社会貢献に取り組むためのフォーラム（場、会議体）、「ひがしなり企業区民連携フォーラム（ひがしなりソケット）」の自律運営の体制を支援する。
- ・ひがしなりソケットから生まれた各プロジェクトに対して広報などの支援を行う。



ひがしなりソケット報告会



ひがしなりソケットLAB.

【具体的取組 4-2-2】「東成区の地域資源」魅力発信事業

2年度 達成状況

【業績目標】

- 東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っている区民の割合

(目標)		(実績)
70%以上	→	74% (区民アンケート)
- 「モノづくり体験フェスタ」の参加者数

(目標)		(実績)
600人維持	→	未測定 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

【具体的取組】

- 「わが町工場見ため隊」(工場見学)、「モノづくり体験フェスタ」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- これまでの「住工共存まちづくり懇談会」の成果を取りまとめた。

3年度 主な取組内容

- 区の特徴である「モノづくり」にスポットをあて、モノづくり企業と触れ合う機会を提供することにより、次世代を担う人材の育成に取り組むとともに、モノづくりをはじめとする地域資源を活用することにより、区の魅力を効果的に発信していく。



わが町工場見ため隊



東成こどもモノづくり
体験フェスタ



地図アプリを活用したまち歩き